

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年4月1日

事業所名:放課後等デイサービス 夢(どりいむ)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・9割が適切であると回答。	8割が適切であると回答。	これからも児童がのびのびと活動できるよう、配慮していきたいと 思います。
	2 職員の適切な配置	足りないと感じることがある。	・適切だと思う。 ・職員人数や資格についてはわからない。	職員不足については、早急に解決していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	十分な設備環境とは言えないので、対策が必要。	・されている。 ・どちらとも言えない。	職員間で話し合いの場を持ち、改善策を検討します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・参画できている。 ・どちらとも言えない。		研修等行い、職員全員で取り組めるように改善します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状、第三者による外部評価は行っていません。		導入を検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	もう少し自由に行けられるようになればいい。		職員が積極的に研修に参加できるよう、業務内容、シフトの見直しを図ります。機会の確保に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズや課題を分析した上で作成している。		保護者様の意向も踏まえ、個々に合った計画を立案します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、放課後等デイサービス通所計画を策定しています。	・こちらの意向を反映されている。 ・もう少し多様化して欲しい。	児童の状況に応じてきめ細やかな計画ができるよう、職員で意見交換していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に記載を行っています。		引き続き実施していきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の計画に即した支援の実施をしています。	されている。	引き続き行っていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で提案・協議し、決めています。		引き続き、職員全員が積極的取り組んでいける環境作りに努めます。プログラム内容についても意見を出し合い、改善を図りたいと思います。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	もっと工夫したいところはあります。	・工夫されている。 ・もう少し活動内容を増やして欲しい。	休日や長期では、平日に出来ない活動を積極的に取り入れていけるよう努めます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化してしまうことがある。		職員間でアイデアを出し合い、固定化しないよう工夫をしていきたいと思っています。他事業所とも情報共有していきたいと思っています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼、昼礼で随時確認をしています。		児童の様子を振り返り、気づいた課題等を伝えています。日によっては十分に時間を取れないときもあり、改善に努めたいと思います。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	児童の変化や気付きを情報交換しているが、その日にいない職員にも共有できるようにしたい。		引き続き、連絡ノート等を活用します。ノートへの記入と口頭での伝達を通じて、情報の共有化を図り、職員同士の連携を強化していきたいと思っています。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の変化、様子、気付き等を記録し、次の支援に生かすようにしている。		今後も記録の徹底を意識し、継続していきます。支援の改善に役立てていきます。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを行っています。必要に応じた見直しをしています。		今後も定期的なモニタリングを実施し、児童の実態に合っているか計画の見直しを図ります。	

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年4月1日

事業所名:放課後等デイサービス 夢(どりいむ)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者、担当者が参加しています。		会議には児童発達支援管理責任者が出席し、相談支援員との情報共有については日々意識しています。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて情報提供している。連携を強めていきたい。		個人情報の取り扱いに留意しながら、他事業所との連携も強化していきたいと思います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	情報は得るようにしている。なかなか研修には参加できていない。		全職員が受講できる環境作りを力を入れたいと思います。引き続き、情報の提供は行っていきます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では十分な交流ができていない。機会が持てるよう努めていきたい。	・交流機会はあります。 ・平日利用の短時間は交流機会が取れない。	満遍なく実施はできていないので、保護者の意向にも耳を傾け必要に応じて検討していきたいと思います。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	法人の行事として、行っていることはある。	・行われていると思う。 ・わからない。	ご要望、ご意見を伺いながら必要に応じて検討していきたいと思ひます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時にはパンフレットを用いて利用の説明を行っています。また、障害児支援利用計画についても併せて説明し、利用までの流れをお伝えしている。	・されている。 ・どちらとも言えない。	丁寧な説明を心掛け、継続していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	現状保護者様にも面談等で詳細をご説明しています。	されている。	契約時に配慮しながら説明していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様からの相談に対しては、個別に対応している。トレーニングの実施は十分ではない。		今後は研修の参加も検討し、職員のスキルアップを図ります。
	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にできるだけ話をする機会を作っている。また、電話やメールを使い定期的に連絡を取り、日頃から保護者様と情報共有するよう心がけています。	・よくしてくれている。 ・どちらとも言えない。	今後も保護者様とお話する機会を作り、児童への理解を深めたいと思います。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	いつでも相談を受ける体制をとり、助言できるように心がけている。	・されていると思う。 ・したことがないのでわからない。	相談等があれば随時対応できるよう、今後も職員一人ひとりのスキルを上げていきたいと思ひます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・できているとは言えない。 ・実施しておりません。	不満はないが、特に保護者同士の関わりはないと思う。	保護者会の積極的な活動には至っていません。今後要望が多くあがるようであれば検討していかなければならないと思ひます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速に対応できているが、案件によっては時間がかかることもある。	・適切だと思う。 ・したことがないのでわからない。	迅速、丁寧にえられる様、トレーニングの実施も交え、改善を重ねます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	配慮している。	・配慮されている。 ・どちらとも言えない。	今後もわかり易く、丁寧な対応を行ってきたいと思ひます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的に発信しています。	・発信されている。 ・どちらとも言えない。	今後も発信を続けていきます。発信内容についても、職員間で意見を出し合い、工夫していきたいと思ひます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	守秘義務に関して、少し考えるべきところがあるように思ひます。	・注意されていると思う。 ・どちらとも言えない。	現在の管理方法に問題はないか、職員間で検討します。取り扱いには十分注意し、業務を進めていきます。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年4月1日

事業所名:放課後等デイサービス 夢(どりいむ)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルはあるが、保護者様まで周知はできていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 ・わからない。 ・説明は受けていない。 	職員間での周知は出来ているが、マニュアル自体を保護者様の方に周知することは出来ていないので、対策を検討していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施されている。 ・わからない。 ・実施されていないと思う。 	今後は保護者様への周知方法を検討していきます。実施後は会報等で報告できるよう改善に努めます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修機会はある。		今後も研修を確保できるように努めていきます。一人ひとりの理解度も確認していきます。また、参加できなかった職員にも周知・伝達していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	面談時に説明を行い、理解を得られるよう努めています。同意して頂いた後に同意書に署名捺印をして頂いています。		対象の児童がおられる場合には、組織的に十分協議して、最小限にとどめるように努めていきたいと思えます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントの際、保護者様から聴取し、確認しています。現在は該当児童なし。		今後も保護者様へのヒアリングを徹底します。児童には十分に配慮していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルを作成し、共有しています。 ・日々の共有はあまりされていないと思えます。 		事業所会議で共有できるように努めていきます。